（郵便省許可）　（本紙十頁）　明治二十四年九月二日　（定價金二錢）

時事新報

第三千百二十三號　水曜日
明治廿四年九月二日
舊暦辛卯七月廿九日　（辛卯）
日出午後五時十四分　入午後六時七分
月出午前三時五十七分　入午前五時五十五分
潮汐午前四時十六分　午後五時十六分
（西暦一千八百九十一年）

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には每號詳細なる商況物價の

時事新報の賣捌に付

此程より本社は府下の各新聞社と共に國會、東京朝日の兩社と其賣捌所を區別する事に決したるに此際各地の購讀者に對し種々の口實を設け甚しきは延着など申唱へて新報の購讀者に他新聞を配達するものある由あれば斯る際には御手數乍ら御一報わりたし遠に御購讀の便路を開き可申候尤も斯る御通知を紙上に吹聽して屢々し御迷惑相懸け候樣の事は本社の決して爲さゝる所此邊の御懸念無之樣願上候

時事新報配達掛

時事新報

官立學校獨立策は如何

國に公立の小學中學あり小學中學の上には官立の高等中學大學あり小學より中學に入り中學より高等中學に入り更に大學に入るの順序にして秩序井然毫も紊るゝなきを得ず然れども既往は既往の事として